



日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347 ＜市議団控室☎436-3030 FAX420-7201＞ 市会議員	
岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160	関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
金沢和子 ☎422-5278	中沢 学 ☎493-8140
坂井洋介 ☎404-2039	松崎さち ☎090-6156-8592
佐藤重雄 ☎432-9872	渡辺ゆう子 ☎462-7273

定時制高校の統廃合 「学び直しの場」切り捨てに怒り

千葉県は11月、定時制高校の統廃合計画を含んだ「県立学校改革推進プラン・第4次実施プログラム（案）」を公表しました。県立船橋高校と県立行徳高校の定時制を統廃合し、使用校舎は船橋高校とする方針です。

実施は2021年度。同年度に行徳定時制課程の募集を停止し、在校生は船橋定時制に転学させます。また普通科を改編し、総合学科を設置する方向です。

12月26日夜、県教育委員会は船橋市中央公民館で、



県の説明会で「行徳定時廃校反対」の横断幕を掲げる参加者

これに関する説明会を開きました。県は「定時制の生徒は勤労者が減少する一方、全日制からの転・編入者、不登校経験者等の全日制の教育に適応しづらい者、高校に通えなかった者などが多い。また、行徳定時制の入学者は今年度12人であり、学習集団が固定的で、社会性やコミュニケーション能力が身に付きにくい」と言います。よって統合し、キャリア教育（生き方・あり方を考える教育）を充実させ、将来の進路を充実させると述べました。

会場からは異論が相次ぎました。

「なくてはならない

高校なくすな」

質疑応答で行徳定時制の生徒は「納得できない。私たちはアットホームな雰囲気の中、少人数でも仲良く学び合い、互いに高め合っている

る。なくてはならない学校だ」と発言しました。別の生徒は「人付き合いが苦手だが、行徳定時制に入り救われた。先生は複雑な家庭環境の話も親身に聞き、私たちも先生に意見が言える。社会性云々は心外だ」と声を震わせました。

同校教職員は「初めて統合の理由を知った。本校入学者は7割が不登校経験者で、学び直しの場でもある。少人数教育は必須だ」と発言。別の教員は卒業生の要望書を紹介。「人混みが苦手な子、貧困で電車代が払えない子を見殺しにするのか。いじめ被害者や年の離れた生徒が笑顔で学び、地域と交流する高校生活は幸せだった」との内容で、「子どもたちの未来を奪ってはならない」と訴えました。

負担増も深刻です。南行徳駅～東船橋駅間の通学定期代は月6550円、半年で3万5420円です。また県は定時制の給食（一食300円）を来年度廃止する方針です。（裏面）

「勤労青年が減少」という県の説明にも「全体の約半数の生徒がアルバイトなどで働いている」と異論が出され、統廃合計画撤回を求める声も上がりました。

様々な事情のある生徒を切り捨てる大問題であり、県は高校統廃合を撤回すべきです。

大混雑の期日前投票所 改善求める

10月に行われた総選挙で、期日前投票での混雑や混乱が起きました。

船橋駅前フェイスビルの期日前投票所は非常に混雑し、投票するのに1時間以上待つ状況が起きたり、二和公民館の期日前投票所も、投票に来た駐車場待ちの車が道路に並び、二和向台駅周辺は交通マヒ状態がおこりました。習志野台出張所も同様です。

近年、期日前投票をする有権者が増えている中で、期日前投票所の改善は緊急課題となっています。今回は特に投票日の天気が悪いと予報されていたため、

期日前投票が増えたといわれていますが、高齢者が増える中で、期日前投票の充実はさらに必要となっています。

他の自治体も課題は同じで、期日前投票所の増設が取り組まれている、千葉市12か所、市川市13か所、松戸市10か所、柏市6か所、市原市6か所などで投票が実施されました。また、期日前投票所の設置場所も公共施設だけでなく商業施設への設置も行われ、多くの有権者に利用されています。

船橋市の期日前投票所は6か所で、人口規模からいっても近隣市に比べ整備が遅れており、

1月6日津田沼駅北口で、日本共産党市議団は多くの市民団体のみなさんとともに、習志野演習場での米軍部隊の訓練に抗議と中止を求める宣伝を行いました。1月7日から16日までの10日間、米軍の2つの部隊（沖縄「グリーンベレー」、米アラスカ「スパルタン旅団」）が習志野基地に滞在し、12日に行われる降下訓練始めに参加することになっています。

現在、沖縄では米軍の航空機事故が続き、米軍訓練の危険性があらわになり、沖縄中で

訓練中止を求める声が上がっています。その最中に船橋に来て訓練を行うというものはいきません。



私のまちに米軍は来るな

改善を求めました。

選挙管理委員会事務局長は「他市の設置個所数は船橋市より多いことは認識している。船橋市として今の数で足りているとは思っていないので、投票環境を向上できるように努力したい」と答えました。

また、当日の投票所について

も、駐車場が遠くて歩行が困難な方が投票に行けない場所があり、投票所の総点検と改善を求め、選挙管理委員会事務局長は「関係機関と調整を図りながら必要な措置を講じていきたい」と答えました。